

2017年7月5日

ESG 投資のための株価指数の構成銘柄に選定  
～FTSE RussellとMSCIの2つの新指数に採用～

株式会社三菱ケミカルホールディングス

株式会社三菱ケミカルホールディングス（本社：東京都千代田区、社長：越智 仁）は、年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）が ESG 投資のための株価指数（ESG 指数）として新たに選定した「FTSE Blossom Japan Index」および「MSCI 日本株女性活躍指数」の構成銘柄となったことをお知らせいたします。（GPIF は、これらの新指数に連動した国内株式のパッシブ運用を開始しており、将来的には拡大を検討するとしています。）

「FTSE Blossom Japan Index」は、環境、社会、ガバナンス(ESG)の対応に優れた日本企業のパフォーマンスを反映するインデックスで、業種ニュートラルとなるよう設計されています。

FTSE Russell はコーポレートガバナンス、健康と安全、汚職防止、気候変動といった ESG テーマの企業評価を行っており、環境、社会、ガバナンスに関する多様な基準を満たしている企業により構成されています。

「MSCI 日本株女性活躍指数」は、米国の指数提供会社である MSCI が女性の活躍推進の分野で網羅的に構築した初の ESG 指数です。日本企業を対象に女性活躍推進法により開示される女性雇用に関するデータに基づき、多面的に性別多様性スコアを算出し、各業種から選別された性別多様性スコアの高い企業により構成されています。

三菱ケミカルホールディングスグループは、今後も人・社会・地球の課題解決を通じて世界の持続可能性向上に貢献することで自らも持続的に成長する真にグローバルな「THE KAITEKI COMPANY」をめざし、ESG の課題に対し真摯に取り組んでいきます。

以上

本件に関するお問合せ先 (株)三菱ケミカルホールディングス 広報・IR 室 電話:03-6748-7140
-------------------------------------------------------------